

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)公開番号

特開2023-149069

(P2023-149069A)

(43)公開日 令和5年10月13日(2023.10.13)

(51)国際特許分類		F I		テーマコード(参考)
E 0 4 H	1/02 (2006.01)	E 0 4 H	1/02	2 D 0 6 1
E 0 4 H	1/12 (2006.01)	E 0 4 H	1/12 3 0 1	2 D 1 3 2
A 4 7 K	4/00 (2006.01)	A 4 7 K	4/00	2 E 0 2 5
E 0 3 C	1/20 (2006.01)	E 0 3 C	1/20 A	4 C 0 9 4
A 6 1 H	33/00 (2006.01)	A 6 1 H	33/00 3 1 0 Z	
審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全14頁)				

(21)出願番号 特願2022-57426(P2022-57426)

(22)出願日 令和4年3月30日(2022.3.30)

(71)出願人 314012076

パナソニックIPマネジメント株式会社
大阪府門真市元町2番6号

(74)代理人 110002527

弁理士法人北斗特許事務所

(72)発明者 佐橋 直紀

大阪府門真市大字門真1048番地 パ
ナソニックエイジフリー株式会社内

(72)発明者 大城 創太

大阪府門真市大字門真1048番地 パ
ナソニックエイジフリー株式会社内

Fターム(参考) 2D061 CA02 CB10 CC03 CC06
CC12

2D132 GA00

2E025 AA14 AA23 BA01 BC02

最終頁に続く

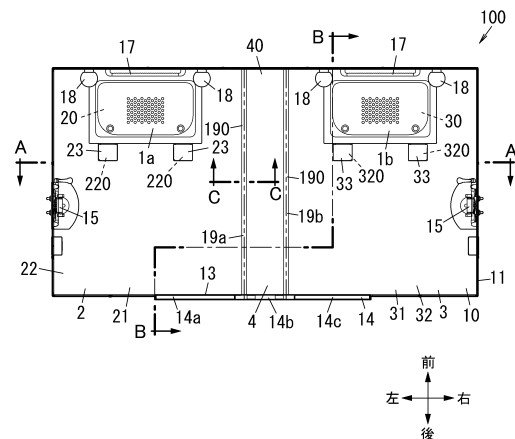
(54)【発明の名称】 浴室構造

(57)【要約】

【課題】複数の介護者による入浴介助や、ストレッチャーを用いた要介護者の搬送が行いやすい浴室構造を提案する。

【解決手段】浴室構造100は、第一床パン2と、第二床パン3と、第一床パン2と第二床パン3の間に位置する少なくとも1つの中央床パン4と、を有する床10を備える。第一床パン2は、浴槽1aが設置される浴槽設置部20を含む。第二床パン3は、他の浴槽1bが設置される浴槽設置部30を含む。少なくとも1つの中央床パン4の上面40は、第一床パン2の上面21及び第二床パン3の上面31に対して、形状が異なる。

【選択図】図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

浴槽が設置される浴槽設置部を含む第一床パンと、
他の浴槽が設置される浴槽設置部を含む第二床パンと、
前記第一床パンと前記第二床パンの間に位置する少なくとも 1 つの中央床パンと、を有する床を備え、
前記少なくとも 1 つの中央床パンの上面は、前記第一床パンの上面及び前記第二床パンの上面に対して、形状が異なる、
浴室構造。

【請求項 2】

前記少なくとも 1 つの中央床パンは、1 つの中央床パンである、
請求項 1 に記載の浴室構造。

【請求項 3】

前記 1 つの中央床パンの上面は、中央部が外周縁よりも高く位置するように、傾いている、
請求項 2 に記載の浴室構造。

【請求項 4】

前記第一床パンと前記 1 つの中央床パンの境目と、前記 1 つの中央床パンと前記第二床パンの境目のそれぞれは、前記第一床パンと前記 1 つの中央床パンと前記第二床パンとが並ぶ第一方向における前記床の中間地点に対してずれて位置する、
請求項 2 又は 3 に記載の浴室構造。

【請求項 5】

浴室側壁と、
前記浴室側壁の一部に設けられる出入口と、を更に備え、
前記第一床パンと前記 1 つの中央床パンと前記第二床パンとが並ぶ第一方向における前記出入口の長さは、前記 1 つの中央床パンの前記第一方向の長さよりも長い、
請求項 2 から 4 のいずれか一項に記載の浴室構造。

【請求項 6】

前記出入口に設置され、前記第一方向にスライド可能な引き戸を更に備える、
請求項 5 に記載の浴室構造。

【請求項 7】

前記第一床パンと前記 1 つの中央床パンと前記第二床パンとが並ぶ第一方向における前記床の長さは、平面視において前記第一方向に直交する第二方向における前記床の長さの 2 倍以上である、
請求項 2 から 6 のいずれか一項に記載の浴室構造。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本開示は、浴室構造に関し、詳細には、複数の床パンを備える浴室構造に関する。

【背景技術】**【0002】**

特許文献 1 には、2 つの防水パンの端縁同士が連結され、連結された端縁の上方に、仕切り部材が設けられた浴室構造が記載されている。

【先行技術文献】**【特許文献】****【0003】**

【特許文献 1】特開 2011 - 196108 号公報

【発明の概要】**【発明が解決しようとする課題】****【0004】**

10

20

30

40

50

ところで、高齢者等の身体機能が低下した要介護者の入浴を介助する際、移動用車輪付き簡易ベッド（いわゆるストレッチャー）を用いて浴室まで要介護者を運ぶ場合や、複数人の介護者で要介護者の入浴を介助する場合がある。

【0005】

しかし、特許文献1に記載の浴室構造では、2つの防水パンの連結された端縁の上方に仕切り部材があるため、この仕切り部材が邪魔になって、複数の介護者による入浴介助や、ストレッチャーを用いた要介護者の搬送が行いにくいおそれがある。

【0006】

上記事情に鑑みて、本開示は、複数の介護者による入浴介助や、ストレッチャーを用いた要介護者の搬送が行いやすい浴室構造を提案することを目的とする。

10

【課題を解決するための手段】

【0007】

本開示の一態様に係る浴室構造は、第一床パンと、第二床パンと、前記第一床パンと前記第二床パンの間に位置する少なくとも1つの中央床パンと、を有する床を備える。前記第一床パンは、浴槽が設置される浴槽設置部を含む。前記第二床パンは、他の浴槽が設置される浴槽設置部を含む。前記少なくとも1つの中央床パンの上面は、前記第一床パンの上面及び前記第二床パンの上面に対して、形状が異なる。

【発明の効果】

【0008】

本開示の一態様に係る浴室構造は、複数の介護者による入浴介助や、ストレッチャーを用いた要介護者の搬送が行いやすい。

20

【図面の簡単な説明】

【0009】

【図1】図1は、本開示の一実施形態の浴室構造を示す平面図であり、浴室天井の図示を省略した図である。

【図2】図2A、図2Bは、図1のA-A線における断面図であり、図2Aは、同上の浴室構造の内側中央部から出入口側を見た図であり、図2Bは、同上の浴室構造の内側中央部から出入口とは反対側を見た図である。

【図3】図3は、図1のB-B線における断面図である。

【図4】図4は、図1のC-C線における断面図である。

30

【図5】図5は、同上の浴室構造の変形例を概略的に示す斜視図である。

【発明を実施するための形態】

【0010】

（一実施形態）

1. 概要

図1に示す一実施形態の浴室構造100は、第一床パン2と、第二床パン3と、第一床パン2と第二床パン3の間に位置する少なくとも1つの中央床パン4と、を有する床10を備える。第一床パン2は、浴槽1aが設置される浴槽設置部20を含む。第二床パン3は、他の浴槽1bが設置される浴槽設置部30を含む。少なくとも1つの中央床パン4の上面40は、第一床パン2の上面21及び第二床パン3の上面31に対して、形状が異なる。

40

【0011】

上記構成を備える一実施形態の浴室構造100では、少なくとも1つの中央床パン4の分だけ浴槽1a、1bの間のスペースを広げることができるため、複数の介護者による入浴介助や、ストレッチャーを用いた要介護者の搬送が行いやすい。また、一実施形態の浴室構造100では、少なくとも1つの中央床パン4の上面40が、浴槽設置部20、30を含む床パン2、3の上面21、31に対して形状が異なる。そのため、一実施形態の浴室構造100では、少なくとも1つの中央床パン4の上方の空間を、浴槽の設置以外の用途で（例えばストレッチャーの置きスペースや洗い場として）利用しやすい。

【0012】

50

2. 詳細

続いて、一実施形態の浴室構造 100 について、図面を参照して更に詳しく説明する。浴室構造 100 としては、例えば、介護施設又は病院等の非住宅施設に設けられ、複数人が同時に入ることができる程度の、比較的広い浴室構造 100 を想定する。

【0013】

図 1 から図 3 に示すように、浴室構造 100 は、床 10 と、床 10 の上方の空間を四方から囲む浴室側壁 11 と、床 10 の上方の空間を上側から覆う浴室天井 12 と、を備える。浴室構造 100 は更に、浴室側壁 11 の一部に設けられる出入口 13 を備える。浴室構造 100 は更に、出入口 13 に設置されるスライド可能な引き戸 14 を備える。

【0014】

床 10 と浴室側壁 11 と浴室天井 12 とは、一体に組み立てられている。本実施形態では、床 10 は、平面視矩形形状であり、より詳しくは、平面視長方形形状である。第一床パン 2 と、少なくとも 1 つの中央床パン 4 と、第二床パン 3 が並ぶ第一方向が、床 10 の長さ方向である。平面視において第一方向に直交する第二方向が床 10 の幅方向である。以下では、床 10 の長さ方向を左右方向と記載し、床 10 の幅方向を前後方向と記載する。

【0015】

2-1. 床

床 10 は、第一床パン 2 と、第二床パン 3 と、第一床パン 2 と第二床パン 3 の間に位置する少なくとも 1 つの中央床パン 4 と、を有する。本実施形態では、少なくとも 1 つの中央床パン 4 は、1 つの中央床パン 4 である。

【0016】

第一床パン 2、中央床パン 4 及び第二床パン 3 は、互いに連結されて 1 つの床 10 を構成している。床パン 2、3、4 のそれぞれは、防水性を有している。床パン 2、3、4 のそれぞれは、樹脂成型品である。床パン 2、3、4 のそれぞれは、例えば、FRP (Fiber Reinforced Plastics) 製である。床パン 2、3、4 のそれぞれは、利用者の体重を支えるのに十分な強度、水勾配、及び水はけを良好にする凹凸等を有している。

【0017】

床パン 2、3、4 は、複数の脚部 101 を介して床下地 (図示せず) 上に設置されることで、床 10 を形成する。床パン 2、3、4 のそれぞれは、複数の脚部 101 によって支持される。床パン 2、3、4 は、境目に大きな段差が生じないように、略面一に連結されている。床パン 2、3、4 は、境目に隙間が生じないように、互いに突き合わせて配置されている。そのため、床 10 の上面は、大きな段差のない平面に近い面となっている。

【0018】

本実施形態では、第一床パン 2 と第二床パン 3 は、形状が類似しており、大きさが同じである。中央床パン 4 は、第一床パン 2 及び第二床パン 3 とは、形状及び大きさが異なる。そのため、中央床パン 4 の上面 40 は、第一床パン 2 の上面 21 及び第二床パン 3 の上面 31 に対して、形状が異なっている。

【0019】

床パン 2、3 のそれぞれは、平面視矩形形状である。本実施形態では、床パン 2、3 のそれぞれは、平面視長方形形状であり、左右方向の長さが前後方向の長さよりも長い。

【0020】

床パン 2、3 のそれぞれは、浴槽設置部 20、30 を含む。浴槽設置部 20、30 は、床パン 2、3 の一部に設けられている。本実施形態では、浴槽設置部 20、30 は、床パン 2、3 の前端部の左右方向の中央部に設けられている。浴槽設置部 20、30 は、床パン 2、3 の一部に形成された、下方に凹んだ凹部で構成されている (図 3 参照)。

【0021】

浴槽設置部 20、30 の一部には、浴槽 1a、1b が有する排水口に接続される排水孔 (図示せず) が設けられている。排水孔は、浴槽設置部 20、30 を構成する床パン 2、3 の一部を貫通している。

10

20

30

40

50

【 0 0 2 2 】

床パン 2 , 3 のそれぞれは、洗い場部 2 2 , 3 2 を含む。ここで、洗い場とは、浴室構造 1 0 0 の利用者が身体を洗うために用いるスペースを意味する。洗い場では、利用者は、床 1 0 の上に設置された椅子に座った状態又は床 1 0 の上に立った状態で、体を洗うことが可能である。

【 0 0 2 3 】

洗い場部 2 2 , 3 2 は、床パン 2 , 3 のうち、浴槽設置部 2 0 , 3 0 を除いた残りの部分である。本実施形態では、床パン 2 , 3 のうち、浴槽設置部 2 0 , 3 0 の左右の部分と、浴槽設置部 2 0 , 3 0 よりも後側の部分が、洗い場部 2 2 , 3 2 である。洗い場部 2 2 , 3 2 の一部（詳しくは浴槽設置部 2 0 , 3 0 に隣接する 2 箇所）には、排水孔 2 2 0 , 3 2 0 が設けられている。排水孔 2 2 0 , 3 2 0 は、洗い場部 2 2 , 3 2 に対して着脱可能な蓋 2 3 , 3 3 によって上方から覆い隠されている。洗い場部 2 2 , 3 2 の上面は、排水孔 2 2 0 , 3 2 0 に向けて、下り傾斜している（図 2 B 参照）。

10

【 0 0 2 4 】

中央床パン 4 は、平面視矩形状である。より詳しくは、中央床パン 4 は、平面視長方形である、前後方向の長さが左右方向の長さよりも短い。中央床パン 4 は、床パン 2 , 3 に対して、前後方向の長さが同じである。中央床パン 4 は、左右方向の長さが、床パン 2 , 3 よりも短い。中央床パン 4 の左右方向の長さは、床パン 2 , 3 の左右方向の長さの五分の一から三分の一程度であり、例えば、4 0 0 mm 以上 8 0 0 mm 以下である。

【 0 0 2 5 】

本実施形態では、中央床パン 4 の上面 4 0 は、中央部が外周縁よりも高く位置するように、傾いている。つまり、中央床パン 4 の上面 4 0 は、前後方向及び左右方向の中央部が、前側の端辺、後側の端辺、左側の端辺、及び右側の端辺よりも高く位置しており、中央部から各端辺に向けて所定の角度で下り傾斜している。本実施形態では、中央床パン 4 は、中央床パン 4 を貫通する排水孔を有していない。また、中央床パン 4 は、浴槽が設置される凹状の浴槽設置部を有しておらず、洗い場やストレッチャーの配置スペースとして利用可能である。

20

【 0 0 2 6 】

中央床パン 4 の上面 4 0 の左側の端辺は、第一床パン 2 の上面 2 1 の右側の端辺と、同じ又は略同じ高さに位置する。中央床パン 4 の上面 4 0 の右側の端辺は、第二床パン 3 の上面 3 1 の左側の端辺と同じ又は略同じ高さに位置する。そのため、中央床パン 4 の上面 4 0 の上の水は、上面 4 0 の外周縁に向けて流れた後、床パン 2 , 3 の上面 2 1 , 3 1 の傾斜によって排水孔 2 2 0 , 3 2 0 へと流れ込んで排水される。

30

【 0 0 2 7 】

本実施形態の浴室構造 1 0 0 は、第一床パン 2 と中央床パン 4 の境目を覆うカバー材 1 9 a と、中央床パン 4 と第二床パン 3 の境目を覆うカバー材 1 9 b を更に備える。

【 0 0 2 8 】

図 4 に示すように、カバー材 1 9 a は、第一床パン 2 の中央床パン 4 に隣接する側の端部に設けられた一段凹んだ凹段部 2 4 と、中央床パン 4 の第一床パン 2 に隣接する側の端部に設けられた一段凹んだ凹段部 4 1 に収まる。第一床パン 2 の上面 2 1 とカバー材 1 9 a の上面 1 9 0 と中央床パン 4 の上面 4 0 は、略面一に配置される。

40

【 0 0 2 9 】

なお、図 4 中の符号 1 9 1 は、床パン 2 , 4 の境目の隙間を塞ぐシリコンコーキング等のコーキング材であり、符号 1 9 2 は、パッキンであり、符号 1 9 3 は、溶融亜鉛メッキ鋼板等の金属製のジョイントプレートである。符号 1 9 4 は、ジョイントプレート 1 9 3 を床パン 2 , 4 に固定する皿タッピンネジ等の固定具であり、符号 1 9 5 は、カバー材 1 9 a と床パン 2 , 4 の隙間を塞ぐシリコンコーキング等のコーキング材である。

【 0 0 3 0 】

カバー材 1 9 b も、カバー材 1 9 a と同様に、中央床パン 4 と第二床パン 3 の境目を覆う。つまり、第二床パン 3 の上面 3 1 とカバー材 1 9 b の上面 1 9 0 と中央床パン 4 の上

50

面 4 0 は、略面一に配置される。

【 0 0 3 1 】

上述した床パン 2 , 3 , 4 で形成される床 1 0 では、第一床パン 2 と 1 つの中央床パン 4 の境目と、1 つの中央床パン 4 と第二床パン 3 の境目のそれぞれは、第一方向（つまり左右方向）における床 1 0 の中間地点に対してずれて位置する。本実施形態では、左右方向における中央床パン 4 の中間地点が、床 1 0 の中間地点である。

【 0 0 3 2 】

本実施形態では、第一方向（つまり左右方向）における床 1 0 の長さは、第二方向（つまり前後方向）における床 1 0 の長さの 2 倍以上である。

【 0 0 3 3 】

2 - 2 . 浴室側壁

浴室側壁 1 1 は、平面視長形状の床 1 0 の外周部上に設置される複数の壁 1 1 0 a , 1 1 0 b , 1 1 0 c で構成されている。複数の壁 1 1 0 a , 1 1 0 b , 1 1 0 c のそれぞれは、矩形板状である。複数の壁 1 1 0 a , 1 1 0 b , 1 1 0 c のそれぞれは、防水性を有し、例えば、樹脂成型品である。

【 0 0 3 4 】

本実施形態では、床 1 0 の前端部上には、図 2 B に示すように、左右方向に隙間無く並ぶ 5 つの壁 1 1 0 a が設置され、床 1 0 の左右の端部のそれぞれの上には、図 3 に示すように、前後方向に隙間無く並ぶ 3 つの壁 1 1 0 b が設置されている。床 1 0 の後端部上には、図 2 A に示すように、左右方向に間隔をおいて並ぶ 2 つの壁 1 1 0 c が設置されている。2 つの壁 1 1 0 c の間の正面視長形状の空間が、浴室構造 1 0 0 の出入口 1 3 である。

【 0 0 3 5 】

出入口 1 3 は、左右方向における長さが、中央床パン 4 よりも長い。また、出入口 1 3 は、左右方向における長さが、第一床パン 2 よりも長く、第二床パン 3 よりも長い。出入口 1 3 の左右方向の長さは、例えば、2 , 0 0 0 m m 以上 2 , 6 0 0 m m 以下である。

【 0 0 3 6 】

出入口 1 3 は、第一床パン 2 から第二床パン 3 にわたるように形成されている。つまり、出入口 1 3 の第一方向の一端（つまり左端）は、第一床パン 2 上に位置し、出入口 1 3 の第一方向の他端（つまり右端）は、第二床パン 3 上に位置する。中央床パン 4 の上方には、中央床パン 4 の幅方向の全長にわたって出入口 1 3 が位置する。本実施形態では、左右方向において、出入口 1 3 の中間地点は、床 1 0 の中間地点（中央床パン 4 の中間地点）と一致する。

【 0 0 3 7 】

本実施形態では、図 2 B に示すように、床 1 0 の前端部上の 5 つの壁 1 1 0 a は、隣接する 2 つの壁 1 1 0 a の境目が、第一床パン 2 と中央床パン 4 の境目又は中央床パン 4 と第二床パン 3 の境目に対して第一方向（つまり左右方向）にずれて位置している。

【 0 0 3 8 】

図 1 から図 3 に示すように、浴室側壁 1 1 には、シャワー等の給水設備 1 5（水栓設備を含む）、鏡 1 6、手すり 1 7、及び照明装置 1 8 等の種々の浴室用設備が設置されている。

【 0 0 3 9 】

2 - 3 . 浴室天井

浴室天井 1 2 は、平面視矩形状であり、より詳しくは、平面視長形状である。浴室天井 1 2 の形状は、床 1 0 の形状に対応している。浴室天井 1 2 は、その外周部分が浴室側壁 1 1 の複数の壁 1 1 0 a , 1 1 0 b , 1 1 0 c によって支持されている。

【 0 0 4 0 】

浴室天井 1 2 は、例えば、左右方向に隙間無く並んだ複数の天井壁（図示せず）で構成される。複数の天井壁のそれぞれは、矩形板状である。複数の天井壁のそれぞれは、防水性を有し、例えば、樹脂成型品である。

10

20

30

40

50

【 0 0 4 1 】

複数の天井壁は、隣接する2つの天井壁の境目が、浴室側壁11の前側の複数の壁110aの隣接する2つの壁110aの境目に対して一方向（つまり左右方向）にずれて位置する。また、複数の天井壁は、隣接する2つの天井壁の境目が、浴室側壁11の後側の2つの壁110cの縁に対しても一方向（つまり左右方向）にずれて位置する。

【 0 0 4 2 】

浴室天井12には、換気装置、暖房装置等の種々の浴室用設備が設置される。なお、図2A、図2B及び図3では、これらの浴室用設備の図示を省略している。

【 0 0 4 3 】

2 - 4 . 引き戸

図1に示す引き戸14は、出入口13に一方向（つまり左右方向）にスライド可能に設置されている。本実施形態では、図1、図2A及び図3に示すように、引き戸14は、引き違い戸であり、3枚の引き戸14a, 14b, 14cで構成されている。床10の外周部のうち出入口13に対応する部分には、3枚の引き戸14a, 14b, 14cを左右方向にスライド可能に支持するレール（図示せず）が設けられる。

10

【 0 0 4 4 】

3枚の引き戸14a, 14b, 14cのそれぞれは、左右方向の長さが、出入口13の左右方向の長さの3分の1程度である。3枚の引き戸14a, 14b, 14cは、前後方向に互いにずれて位置する。

【 0 0 4 5 】

3枚の引き戸14a, 14b, 14cは、出入口13の全体を閉塞する閉位置と、出入口13の一部を開放する開位置との間で、スライド可能である。3枚の引き戸14a, 14b, 14cは、出入口13の左右方向の一端部と他端部のそれぞれにおいて、前後方向に重なって位置することができる。

20

【 0 0 4 6 】

3枚の引き戸14a, 14b, 14cを開位置に配置した状態では、出入口13の左右方向の長さの半分以上（本実施形態では3分の2程度）が開放され、出入口13の左右方向における中央部が開放される。この状態では、3枚の引き戸14a, 14b, 14cはいずれも、中央床パン4上に位置せず、第一床パン2又は第二床パン3の上に位置する。3枚の引き戸14a, 14b, 14cを開位置に配置した状態では、出入口13の左右方向の開き幅は、例えば、1,200mm以上1,600mm以下である。

30

【 0 0 4 7 】

3枚の引き戸14a, 14b, 14cを閉位置に配置した状態では、出入口13の全体が閉塞される。この状態では、3枚の引き戸14a, 14b, 14cは、第一床パン2、中央床パン4、及び第二床パン3の上に位置する。

【 0 0 4 8 】

引き戸14を閉じた状態では、出入口13の全体が閉塞され、人やストレッチャーの浴室空間への出入りが制限され、引き戸14が開いた状態では、出入口13が開放され、人やストレッチャーの浴室空間への出入りが可能となる。

【 0 0 4 9 】

2 - 5 . その他

浴室構造100は、中央床パン4の上に設置されて、浴室空間を左右に分ける仕切壁を備えていない。そのため、第一床パン2の上方の空間と第二床パン3の上方の空間とは、仕切壁によって仕切られておらず、中央床パン4の上方の空間と併せて1つの浴室空間を形成している。

40

【 0 0 5 0 】

2 - 6 . 作用効果

以上説明した浴室構造100では、浴槽1a, 1bが設置される2つの床パン2, 3の間に中央床パン4が配置されている。そのため、本実施形態の浴室構造100では、中央床パン4の分だけ、浴槽1a, 1bの間のスペースを広げることができて、浴室構造10

50

0 内に、複数の介護者やストレッチャーが入りやすい。

【 0 0 5 1 】

また、本実施形態の浴室構造 1 0 0 では、中央床パン 4 の上には、浴室構造 1 0 0 の内側の空間を左右に分ける仕切壁が存在しないため、床パン 2 , 3 間での人やストレッチャーの移動もしやすい。

【 0 0 5 2 】

また、本実施形態の浴室構造 1 0 0 では、出入口 1 3 の幅（左右方向の長さ）が、中央床パン 4 の幅（左右方向の長さ）よりも長いため、出入口 1 3 を介した浴室構造 1 0 0 内の出入りがしやすい。

【 0 0 5 3 】

また、本実施形態の浴室構造 1 0 0 では、床パン 2 , 3 , 4 の境目が、床 1 0 の長さ方向の中間地点からずれて位置するため、浴室構造 1 0 0 が左右 2 つの別々の浴室を単につなぎ合わせたような外観となりやすく、広い一室の浴室のような外観となりやすい。

【 0 0 5 4 】

また、本実施形態の浴室構造 1 0 0 では、床パン 2 , 3 , 4 の境目に対して、浴室側壁 1 1 の複数の壁 1 1 0 a の境目もずれて位置し、この浴室側壁 1 1 の複数の壁 1 1 0 a の境目に対して、浴室天井 1 2 の複数の壁の境目もずれて位置する。そのため、この点においても、本実施形態の浴室構造 1 0 0 では、浴室構造 1 0 0 が左右 2 つの別々の浴室を単につなぎ合わせたような外観となりやすく、広い一室の浴室のような外観となりやすい。

【 0 0 5 5 】

また、本実施形態の浴室構造 1 0 0 では、出入口 1 3 が第一床パン 2 及び第二床パン 3 よりも幅広であるため、浴室側壁 1 1 が左右 2 つの出入口を有する場合に比べて、出入口 1 3 の開口幅が広くできて、出入口 1 3 を介した移動がしやすい。

【 0 0 5 6 】

また、本実施形態の浴室構造 1 0 0 では、出入口 1 3 に左右方向にスライド可能な引き戸 1 4 が配置されているため、折れ戸等の他の戸が設置される場合に比べて、引き戸 1 4 が邪魔になりにくい。

【 0 0 5 7 】

また、本実施形態の浴室構造 1 0 0 では、引き戸 1 4 が 3 枚の引き戸 1 4 a , 1 4 b , 1 4 c であるため、出入口 1 3 の半分以上を開放できて、出入口 1 3 を介した移動がしやすい。

【 0 0 5 8 】

3 . 変形例

続いて、上述した浴室構造 1 0 0 の変形例について説明する。以下に示す各変形例は、適宜組み合わせ可能である。

【 0 0 5 9 】

床 1 0 は、少なくとも 1 つの中央床パン 4 を備えればよく、少なくとも 1 つの中央床パン 4 は 1 つの中央床パン 4 に限定されない。例えば、少なくとも 1 つの中央床パン 4 は、左右方向に並ぶ 2 つ以上の中央床パン 4 であってもよい。ただし、床 1 0 は、隣接する 2 つの床パンの境目が、床 1 0 の長手方向の中間地点からずれて位置することが好ましい。

【 0 0 6 0 】

また、少なくとも 1 つの中央床パン 4 は、前後方向に並ぶ 2 つ以上の中央床パン 4 であってもよい。

【 0 0 6 1 】

中央床パン 4 の上面 4 0 は、中央部が外周縁よりも高く位置するように、傾くことに限定されない。例えば、中央床パン 4 の上面 4 0 は、中央部が外周縁よりも低く位置するように傾いてもよく、この場合、中央部には中央床パン 4 を貫通する排水孔が設けられる。

【 0 0 6 2 】

第一床パン 2 と中央床パン 4 の境目と、中央床パン 4 と第二床パン 3 の境目のそれぞれ

10

20

30

40

50

は、第一方向（左右方向）における床 10 の中間地点に対してずれて位置しなくてもよく、2つの境目のいずれか一方が、床 10 の中間地点に位置してもよい。

【0063】

浴室構造 100 が備える少なくとも 1 つの中央床パン 4 の左右方向の長さが第一床パン 2 又は第二床パン 3 の左右方向の長さよりも長い場合、出入口 13 の左右方向の長さは、少なくとも 1 つの中央床パン 4 の左右方向の長さよりも短くてもよい。

【0064】

引き戸 14 は、引き違い戸に限らず、片引き戸、引き分け戸、又は引き込み戸であってもよい。また、出入口 13 を開閉する部材は、引き戸 14 に限定されない。出入口 13 を開閉する部材は、例えば、開き戸、折れ戸等の種々の扉（戸）であってもよいし、カーテン等であってもよい。また、浴室構造 100 は、出入口 13 を開閉する部材を備えなくてもよい。

10

【0065】

第一方向（つまり左右方向）における床 10 の長さは、第二方向（つまり前後方向）における床 10 の長さの 2 倍以上に限定されない。

【0066】

床パン 2, 3 における浴槽設置部 20, 30 の配置は、図 1 に示す配置に限定されない。例えば、図 5 に示す変形例のように、床パン 2, 3 は、左右方向外側の端部の前後方向の中央部に、浴槽設置部 20, 30 を有してもよい。また、床パン 2 における浴槽設置部 20 の配置と第二床パン 3 における浴槽設置部 30 の配置は、互いに異なってもよい。

20

【0067】

また、浴槽設置部 20, 30 は、凹み形状に限定されない。浴槽設置部 20, 30 は、洗い場部 22, 32 と同様に、略フラットに設けられてもよく、浴槽 1a, 1b の排水口からの水が排水される排水孔が一部に設けられた部分であればよい。なお、浴槽設置部 20, 30 の排水孔は、浴槽 1a, 1b の排水口付近に位置することが好ましい。

【0068】

また、床パン 2, 3 の洗い場部 22, 32 上と中央床パン 4 上には、浴槽 1a, 1b とは別の浴槽が更に設置されてもよい。つまり、中央床パン 4 の上にも、浴槽が設置されてもよい。

【0069】

30

（まとめ）

以上説明した一実施形態及びその変形例の浴室構造 100 のように、本開示の第一態様の浴室構造（100）は、下記の構成を備える。

【0070】

すなわち、第一態様の浴室構造（100）は、第一床パン（2）と、第二床パン（3）と、第一床パン（2）と第二床パン（3）の間に位置する少なくとも 1 つの中央床パン（4）と、を有する床（10）を備える。第一床パン（2）は、浴槽（1a）が設置される浴槽設置部（20）を含む。第二床パン（3）は、他の浴槽（1b）が設置される浴槽設置部（30）を含む。少なくとも 1 つの中央床パン（4）の上面（40）は、第一床パン（2）の上面（21）及び第二床パン（3）の上面（31）に対して、形状が異なる。

40

【0071】

上記構成を備える第一態様の浴室構造（100）では、少なくとも 1 つの中央床パン（4）の分だけ浴槽（1a, 1b）の間のスペースを広げることができるため、複数の介護者による入浴介助や、ストレッチャーを用いた要介護者の搬送が行いやすい。また、第一態様の浴室構造（100）では、少なくとも 1 つの中央床パン（4）の上面（40）が、浴槽設置部（20, 30）を含む床パン（2, 3）の上面（21, 31）に対して形状が異なる。そのため、第一態様の浴室構造（100）では、少なくとも 1 つの中央床パン（4）の上方の空間を、浴槽の設置以外の用途で（例えばストレッチャーの置きスペースや洗い場として）利用しやすい。

【0072】

50

また、上述した一実施形態及びその変形例の浴室構造 100 のように、第二態様の浴室構造 (100) は、第一態様の構成に加えて、下記の構成を付加的に備える。

【0073】

すなわち、第二態様の浴室構造 (100) では、少なくとも 1 つの中央床パン (4) は、1 つの中央床パン (4) である。

【0074】

上記構成を備える第二態様の浴室構造 (100) によれば、床 (10) を構成する複数の床パン (2, 3, 4) の境目の数を抑えることができるため、床 (10) の上面の平面化が図りやすく、床 (10) 上でストレッチャーを移動させやすい。

【0075】

また、上述した一実施形態及びその変形例の浴室構造 100 のように、第三態様の浴室構造 (100) は、第二態様の構成に加えて、下記の構成を付加的に備える。

【0076】

すなわち、第三態様の浴室構造 (100) では、1 つの中央床パン (4) の上面 (40) は、中央部が外周縁よりも高く位置するように、傾いている。

【0077】

上記構成を備える第三態様の浴室構造 (100) によれば、中央床パン (4) の上面 (40) 上の水を第一床パン (2) の上面 (21) 又は第二床パン (3) の上面 (31) 上に流すことができる。そのため、第三態様の浴室構造 (100) によれば、中央床パン (4) に排水孔を設けなくてよく、中央床パン (4) の構造を簡素化しやすい。

【0078】

また、上述した一実施形態及びその変形例の浴室構造 100 のように、第四態様の浴室構造 (100) は、第二又は第三態様の構成に加えて、下記の構成を付加的に備える。

【0079】

すなわち、第四態様の浴室構造 (100) では、第一床パン (2) と 1 つの中央床パン (4) の境目と、1 つの中央床パン (4) と第二床パン (3) の境目のそれぞれは、第一床パン (2) と 1 つの中央床パン (4) と第二床パン (3) とが並ぶ第一方向における床 (10) の中間地点に対してずれて位置する。

【0080】

上記構成を備える第四態様の浴室構造 (100) によれば、床パン (2, 3, 4) の境目が床 (10) の中間地点に位置しないことで、浴室構造 (100) が別々の浴室を単につなげたような外観となりにくい。

【0081】

また、上述した一実施形態及びその変形例の浴室構造 100 のように、第五態様の浴室構造 (100) は、第二から第四のいずれか 1 つの態様の構成に加えて、下記の構成を付加的に備える。

【0082】

すなわち、第五態様の浴室構造 (100) では、浴室側壁 (11) と、浴室側壁 (11) の一部に設けられる出入口 (13) と、を更に備える。第一床パン (2) と 1 つの中央床パン (4) と第二床パン (3) とが並ぶ第一方向における出入口 (13) の長さは、1 つの中央床パン (4) の第一方向の長さよりも長い。

【0083】

上記構成を備える第五態様の浴室構造 (100) によれば、浴室側壁 (11) に中央床パン (4) よりも幅広の出入口 (13) を設けることができるため、出入口 (13) を介した浴室構造 (100) の内側空間への出入りが行いやすい。

【0084】

また、上述した一実施形態及びその変形例の浴室構造 100 のように、第六態様の浴室構造 (100) は、第五態様の構成に加えて、下記の構成を付加的に備える。

【0085】

すなわち、第六態様の浴室構造 (100) は、出入口 (13) に設置され、第一方向に

10

20

30

40

50

スライド可能な引き戸（１４）を更に備える。

【００８６】

上記構成を備える第六態様の浴室構造（１００）によれば、出入口（１３）を引き戸（１４）によって簡単な操作で開閉できるため、介護者が出入口（１３）を開閉しやすい。

【００８７】

また、上述した一実施形態及びその変形例の浴室構造１００のように、第七態様の浴室構造（１００）は、第二から第六のいずれか１つの態様の構成に加えて、下記の構成を付加的に備える。

【００８８】

すなわち、第七態様の浴室構造（１００）では、第一床パン（２）と１つの中央床パン（４）と第二床パン（３）とが並ぶ第一方向における床（１０）の長さは、平面視において第一方向に直交する第二方向における床（１０）の長さの２倍以上である。

【００８９】

上記構成を備える第七態様の浴室構造（１００）によれば、床パン（２，３）に設置される２つの浴槽（１ａ，１ｂ）間の距離を長く出来て、２つの浴槽（１ａ，１ｂ）間に空きスペースを確保しやすい。

【００９０】

以上、本開示を添付図面に示す実施形態に基づいて説明したが、本開示は上記の実施形態に限定されるものではなく、本開示の意図する範囲内であれば、適宜の設計変更が可能である。

【符号の説明】

【００９１】

- １ ａ 浴槽
- １ ｂ 他の浴槽
- ２ 第一床パン
- ２ ０ 浴槽設置部
- ２ １ 上面
- ３ 第二床パン
- ３ ０ 浴槽設置部
- ３ １ 上面
- ４ 中央床パン
- ４ ０ 上面
- １ ０ 床
- １ １ 浴室側壁
- １ ３ 出入口
- １ ４ 引き戸
- １ ０ ０ 浴室構造

10

20

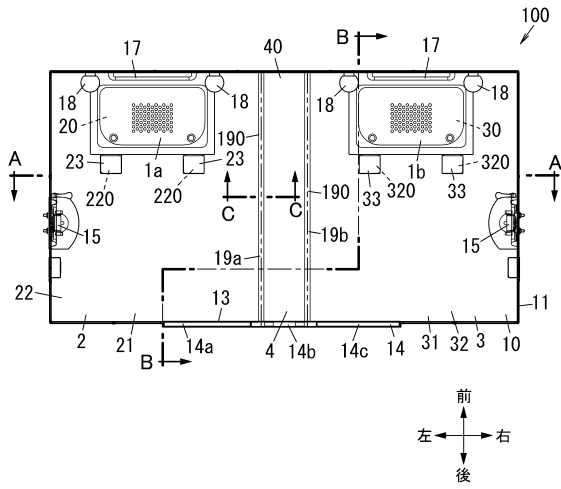
30

40

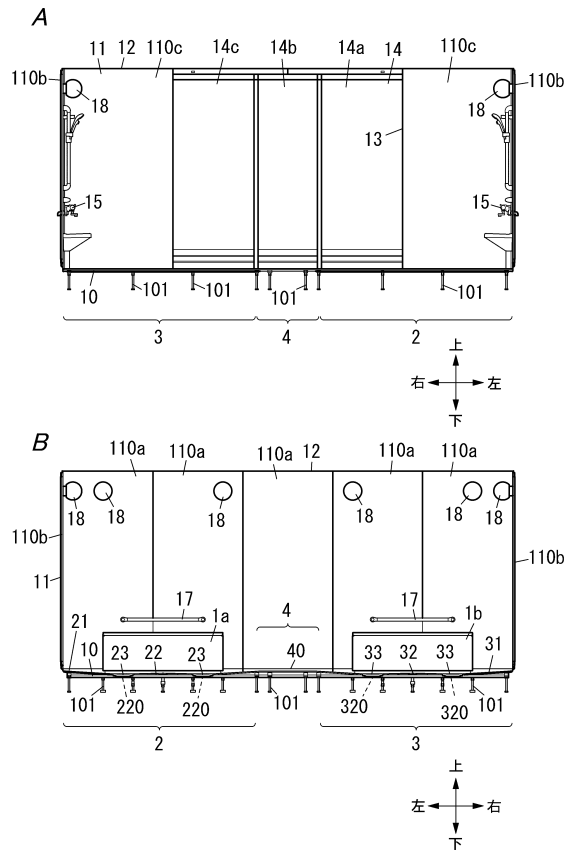
50

【 図面 】

【 図 1 】



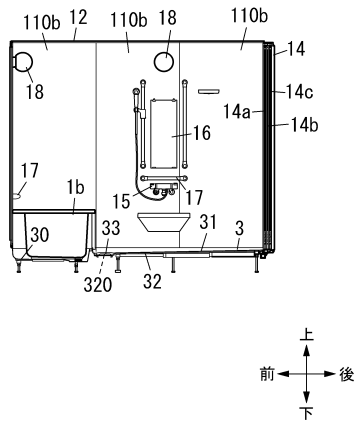
【 図 2 】



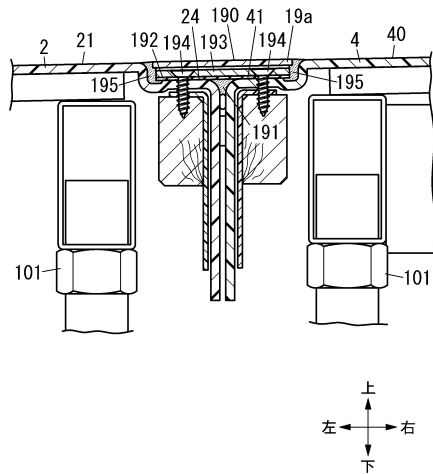
10

20

【 図 3 】



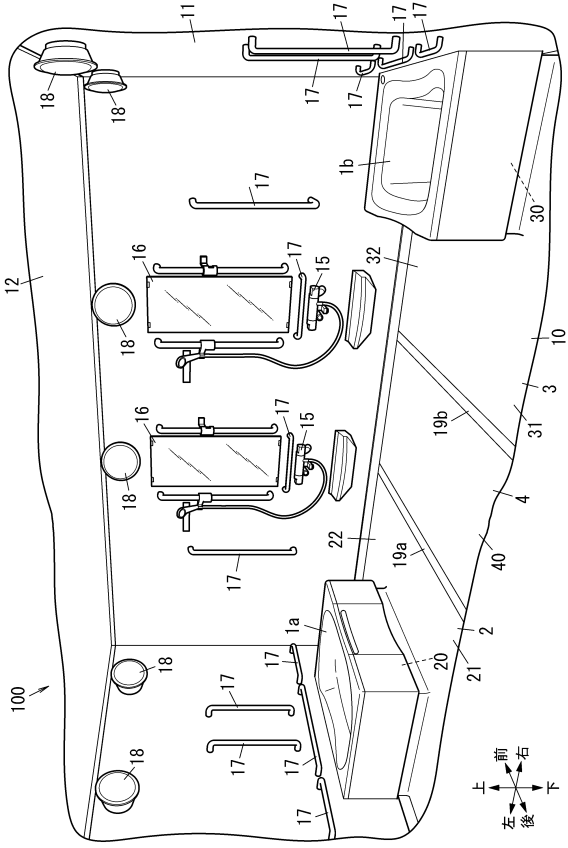
【 図 4 】



30

40

【 図 5 】



10

20

30

40

50

フロントページの続き

Fターム(参考) BC05
4C094 AA01 BA25 BB02 CC11 GG02